

事故防止会議の活動状況について（報告）

1 当該学年における活動状況

平成 28 年度の事故防止会議の活動状況は以下のとおり 4 月から 3 月まで計画的に実施することが出来た。

（1） 活動内容

4 月の会議において事故防止の観点から、ノロウイルスの感染予防について話をして周知徹底させた。

5 月は、県のマニュアルを参考にして別途印刷して研修を行った。

6 月は、定期試験・成績処理にかかわる事故防止の研修を行った。

7 月は、要録・調査書における事故防止について改正点や特に記入についての注意点を中心に研修を行った。

8 月には、総合教育センターの方を講師に招き、「セクハラ・パワハラ」の研修を行った。豊富に取り揃えた資料をもとに充実した研修になった。

9 月には、8 に引き続き「県の指針」を配布して研修をおこなった。

10 月は、農薬・化学薬品の安全管理体制の強化として、タイムリーな豊洲市場におけるベンゼンの汚染状況、天声人語の活用、校内での薬品管理について資料を用意して研修を行った。

11 月は、体罰・不適切指導の防止として県の資料と文部科学省の「体罰について」の資料を活用して特に大切なところを読み上げるなどの研修を行った。

12 月は、酒酔い・酒気帯び運転防止として県の資料を活用して「ノンアルコールビールの危険性」「一定量飲めば、一晩たっても酒気帯び運転」であることを中心に研修を行った。

1月には、入選に関連した事故防止について過去の事例を参考に周知し2月の本番にミスを起こさないように考えてもらった。今年度は入試制度が一部変更になり、マークシートの導入ということもあって全職員に周知徹底した。

2月は、公務外非行防止として、「県立学校長第3回全体会 不祥事防止研修 資料平成26年11月21日」を参考に不祥事防止に関する考え方と具体的な例として修学旅行中の女子生徒に対する不祥事を取り上げて研修を行った。

3月には、一年間のまとめとして反省をしてもらい、今年度の成果と来年度の希望実施項目についてアンケートを実施した。検証結果をふまえ、来年度の実施計画を検討していきたい。

参考

- ・研修参加者の意見から、定期試験・成績処理・要録・調査書における事故防止の研修会は来年度はもう少し早い段階で（4月または5月に）実施した方が良い。
- ・「セクハラ・パワハラ」のテーマを来年度も実施してほしい。（多数）
- ・農具・実験における事故防止も視野に入れてほしい。
- ・文化祭における食中毒についても取上げてほしい。
- ・改めて事故防止の大切さを痛感した。
- ・事故防止については、本来管理職のやるべき内容ではないか。
- ・生徒の携帯電話についても取上げてほしい。
- ・いじめの発見研修を実施してほしい。
- ・この時間は無駄である。
- ・定期試験や成績処理についてどう気をつけるということよりも時間の確保がもっとも大切であることを協議してほしい。
- ・時間が短すぎる。

2 上記の活動に対する校長の意見

私達は公務員としての自覚を持ち、県民や生徒からの信頼に応え、職務に邁進していく立場にあります。しかし、不祥事が発生することによりその信頼を失うこととなり、県民や生徒の不信感につながります。事故防止会議及び研修会を通じて、教職員の不祥事への意識を高め、根絶に向け全職員一丸となって取組むべきものだと考えております。所属長として皆の先頭に立ち取組む所存です。

3 次年度における取組予定

月	テーマ	目標
4月	定期試験・成績処理における事故防止	定期試験の作問や採点及び保管を含めた成績処理全般の事故を未然に防止する
5月	要録、調査書における事故防止	要録・調査書等の公簿作成における事故を未然に防止する
6月	個人情報保護	個人情報の流出を未然に防止し、個人情報の適正な管理・取り扱いに努める
7月	事故防止(ノロウイルスによる感染を防ごう)	事故防止の観点から、ノロウイルス等の感染予防についても周知徹底させる
8月	セクハラ・パワハラの防止	専門家を呼んで、セクハラやパワハラを未然に防止する知識を周知する
9月	セクハラ・パワハラの防止	生徒及び職員間に、不適切な言動や誤解を生ずるような行動がないかどうか確認する
10月	農業・化学薬品の安全管理体制の強化	農業や化学薬品が校内で正しく取り扱われていることを確認する
11月	体罰・不適切指導の防止	体罰・不適切指導の発生を未然に防止する
12月	酒酔い・酒気帯び運転防止	酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する
1月	入学者選抜における事故防止	入学者選抜ではミスは許されない事を確認し、今までの業務内容の点検により、事故防止に努める
2月	公務外非行防止	公務外非行を未然に防止する
3月	今年度の反省と検証	本年度の取組を反省し、次年度に向けて検証を行う